

女性の感性と優しさを町政に反映させたい
だから

レディース・フォーラム



町では、女性の視点から、住みよい町づくりをすすめています。
7月24日（金）、豊明館多目的ホールで『レディース・フォーラム』が開催されました。出席された皆さんは、女性の声としてさまざまな意見や要望を町に伝えていました。それでは、フォーラムの様態を一部ご紹介いたします。

Q 女性の会議は良いのですが、開催日時が平日午前中では、仕事をしている人は出席できないのではないのでしょうか。

A 総務課長
働く女性が多くなり、家事を含めその職種や勤務時間帯も多様化している中で、お顔を合わせた開催日時の調整にはかなり難しい面

もあろうかと思えます。休日等を含め検討して参りたいと思えます。

Q 鶴田中学校前から鶴泊駅に向かう道路のことですが、みどり町から鶴泊駅までの歩道ですが、部分的にアスファルトの下から草が生えてきて、自転車はもちろん

のこと歩くのにも障害が生じる状態です。通学路でもあり、生活道路（買い物に行くのに必要）でもあるため、雑草の草刈り、アスファルトの補修をお願いできないでしょうか。

A 建設整備課長

ご質問いただきました鶴田鶴泊線は、昭和五十八年度から昭和六十一年度にかけて町が整備した一級幹線町道となっておりますが、国道309号バイパス整備の際に一時期、大型車両等の迂回・通行のために町道から暫定国道として県に管理替えをした経緯がございます。

その時に、県の工事として国道からの流入交通量に耐える舗装構造とし、併せて歩道を整備したわけですが、整備後約二十年経過していることから、車道・歩道等の



△今回初めて参加者と対面形式で行われたフォーラム。

老朽化については認識しているところであります。

さて、ご指摘いただきました歩道の草刈り・舗装補修の件でございますが、草刈り等については建設整備課職員が毎年二～三回行っており、今年度も今月中（七月下旬）に実施いたしました。

ご指摘のとおり歩道の一部には、雑草の根がアスファルト舗装の下まで伸びて舗装を持ち上げての箇所がございます。その部分の対処方法の一つとして除草剤散布も検討しましたが、隣接する水田等の影響を考え除草剤の散布はできない状況です。

今後は草刈りと併せて計画的な抜根処理と舗装補修等の対策をしていきたいと考えております。

なお、今年度は、鶴田鶴泊線の車道のわだちが深いところでは6cm以上あったことから、降雨時の歩行者への水はね防止の観点から



△会場では不燃ごみ最終処分場の様子が放映される。

Q 日が長くなると、夕方子どもが帰る時間がわからなくなるということがあります。各小学校でも何時までには家に帰りましょうと決まっていると思いますが、五時か五時半に時報のお知らせがあると便利だと思います。鐘（チャイム）でも良いし、メロディーが流れても良いと思いますので検討をお願いします。

A 教育次長

子どもたちの安全確保のため、学校からの指導を充実させることにも、日頃から家庭において子どもへのしつけを始め、学校、PTAを含め地域の方々に声掛けをする環境づくりを推進してまいります。また、子どもたちに分かりやすく帰宅を促せるよう役場庁舎時計台の「愛の鐘」の修復も予定しております。



◎たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。